

2018年8月16日

会員・支援者の皆様

とめよう原発！かごしまの会
事務局長 井上 勇治

とめよう原発！かごしまの会「臨時総会」のご案内

猛暑が続いておりますが、お元気にお過ごしのことと拝察いたします。

日頃の当会への支援に深く感謝いたします。これまでの総会や諸活動などにつきましては、先日「会報No2」にてご報告させていただいたところです。

さて、突然ではありますが、皆様に「臨時総会」のご案内をしなければならない状況になりました。それは、政治団体「とめよう原発！かごしまの会」の平良行雄代表が、次の政治活動を展開するために、代表を退いた方が得策であろうとの提案があり、10日の緊急役員会で確認したところです。そのため、今後の当会のあり方などを整理することが必要となりました。

つきましては、「臨時総会」を開催し皆様のご確認をいただきたいと存じます。なお、役員会にて論議した内容につきましては、【別添】の文書にまとめましたので、ぜひご一読いただきますようお願いいたします。

皆様におかれましては、大変お忙しい時期とは思いますが、下記の日程で臨時総会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時 … 2018年8月26日(日) 15時～17時
2. 場 所 … 鴨池公民館 2階会議室
3. 検討内容… 裏面の【別添】文書の内容

【別添】

1. 臨時総会の趣旨

政治団体「とめよう原発！かごしまの会」は、2年前の県知事選挙の活動母体として、また政治資金の受け皿として、平良行雄を代表にして発足しました。しかし、公示直前に脱原発を匂わしていた三反園知事候補と原発政策をめぐる協定を結んだ上で平良行雄は立候補を取りやめました。

ところが、当選した三反園知事は、政策協定と会の要請をほとんど無視してきており、この政治団体が三反園知事の公約や政策協定の履行の請求、次期知事選への対応など、平良代表を中心に活動をしてきたところです。

三反園知事の変容によって、県は川内原発の再稼動を実質容認しているばかりか、保安林を解除して3号機立地予定地とほぼ同等の工事が進んでいるという事態が起きており、「とめよう原発！かごしまの会」の役割はますます重要になってきています。

3月に総会を開催いたしましたが、ここになって平良代表が退任しなければならない状況を控え、①次期代表を選んで政治団体として存続させるのか、②市民団体に衣替えをして会の趣旨を継続していくのか、あるいは③会を発展的に解消するのかなど、10日の緊急役員会にて検討を行いました。その結果、平良行雄の今後の都合なども踏まえ、皆さんに提案できるところまで集約することができました。今の三反園知事の原発対応を追及するためにも、会自体の存続と活動は必要と考えるなかで、新たな代表選出も含めて、今後の会のあり方を提案させていただきます。

つきましては、臨時総会の中で皆さんにもご意見をいただき、今後の会のあり方の結論と役員の承認をいただきたいと思いますので、何卒よろしくお願ひいたします。

2. 議案

- (1) 平良代表の今後について
- (2) 会の今後のあり方について
- (3) 新代表および役員の提案

以上